



2018年4月28日(土)春  
期医師部会を開催しました。オーブン企画では、武田裕子先生  
(順天堂大学医学部教授)から「SDHを日々の診療・教育に活かす」と題し、自身のSDHとの出会い、海外や日本におけるSDHから見る医療・医学教育について、日常診療で医師・医療者に求められる視点についてわかりやすくお話ししていただきました。49名が参加しました。(講演のみ..13名、奨学生..2)

名)。また、法人の経営報告、2017年度医師委員会総括・2018年度方針について報告され、指定報告ではくすのきクリニックのリニューアル、菊陽病院の医師体制・医師支援状況について報告されました。奨学生(講演のみ)、新入医師、外部研修中の医師も参加し、現状の課題・展望を共有する機会となりました。

北海道弁護士に参 加しました

初めて玄海原発訴訟に参加しました。意見陳述では、福島から原告の山内さん（玄海原発訴訟の原告にもなっている）が何度も避難引越しを余儀なくされ、娘さんのいじめや、夢叶って開業した蕎麦屋の廃業など切々と語られ、福島原発事故はまだまだ終わっていないと感じました。琉球大学名誉教授の矢ヶ崎先生は、生物物理学的立場から原発の危険性を訴えられました。裁判は想像と違い、淡々と進み、九電側は文書の提出のみで意見しないのに驚きました。前任の裁判長は原告側の訴えや、福島の被害について考慮しておらず、九電側の言い分を鵜呑みにしていたとの事。話を聞けば聞くほど、矛盾を感じました。新任の裁判長に期待をするというみなさんの言葉に共感しました。

(菊陽ぽっぽ保育園・川上隆子)



発行者：木原 望

**T E L : 096-387-2826  
F A X : 096-381-5442**

2018年5月3日憲法をまもる熊本県民のつどいと3000万署名行動に参加して

5月3日に「第35回憲法をまもる熊本県民のつどい」にあわせて、市民と野党の共闘で3000万署名の大宣伝行動を繁華街で3箇所に別れて行いました。民医連はくまもと9条の会としてパルコ前で16時から1時間取組みました。参加は約50名で112筆の署名がありました。その後のつどいには300人が参加し、関西大学の村田尚紀さんの「今日の改憲問題と憲法を活かす運動の課題」と題する講演があり、その他、村田さんとあべ広美さんとの対談もありました。憲法を考え、5月末までの3000万署名を最後までやりきろうと決意を固めた1日でした。

県連 福田 圭一郎

